

背景・目的

今後も市内で作付面積の拡大が見込まれるサツマイモは、短期間に収穫作業が集中することから収穫時の省力化技術の導入が望まれているため、本州産地で導入が進む生分解性マルチについて、特性や作業性、サツマイモの生育に与える影響を調査し、市内における適性を検討しました。

結果

サツマイモ栽培において、慣行の農ポリマルチと生分解性マルチ5銘柄を比較しました。

分類	銘柄	厚さ (mm)	色	総個数 (個/10a)	一個重 (g)	規格内率 (%)	規格内収量 (kg/10a)
慣行	サンプラス農ポリ(=農ポリ)	0.02	黒	18,330	242	75	2,748
生分解性 マルチ	カエルーチ	0.018		16,143	254	88	2,887
	カエルーチL	0.016		14,164	271	89	2,735
	ビオフィレックスマルチプラス	0.018		13,852	247	82	2,368
	ビオフィレックスマルチプラス	0.016		13,435	291	84	2,519
	ビオフィレックスマルチプラス	0.018		16,039	243	81	2,783
			銀ネズ②※				

※ビオ銀ネズ区の色「銀ネズ②」は、銀ネズ（灰色）の黒濃度を増しており、ほぼ黒に近い色味（販売元情報）

	農ポリ	カエルーチ	カエルーチL	ビオフィレックスマルチプラス		
				0.018mm	0.016mm	銀ネズ②
定植直後						
収穫時						
		全体的に破れ	一部、破れ	破れなし	破れなし	破れなし

生分解性マルチの特性

作業性

- ・マルチ敷設時は農ポリと**大差なし**
- ・収穫時はマルチ剥ぎ取りがなく、慣行区より**省力**
- ・生分解性マルチの銘柄によるすき込み性に**大差なし**

収量性

- ・芋の個数は農ポリよりも**少ない**
- ・芋の一個重は農ポリと**同等か重い**
- ・規格外品は農ポリより少なく、**規格内率が高い**
- ・規格内収量は、カエルーチが農ポリより**5%多く**、カエルーチL、ビオフィレックスマルチプラス銀ネズ②は農ポリと**同等**

被覆性

ビオフィレックスマルチプラスは
3種とも破れなし
→収穫前に降雨があっても
ベッド内に**雨が浸みない**

土壌が水分過多になると
収穫作業性や、芋に泥が付き
調製作業性が悪くなるため、
省力化には**被覆性も重要**

結果の活かし方

- ・当地に適した生分解性マルチを導入することで、収穫作業の省力化が可能です。
- ・銘柄によってマルチの特性に違いはありますが、サツマイモ栽培における収量性や被覆性の利点を踏まえると「**ビオフィレックスマルチプラス銀ネズ②**」が有望です。